

インドメタシンが 痛みの元に浸透!

メタシンパスL

第2類
医薬品

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる)

1. 次の人は使用しないこと

- (1) 本剤又はインドメタシン製剤によるアレルギー症状(発疹・発赤、かゆみ、かぶれなど)を起こしたことがある人
- (2) ぜんそくを起こしたことがある人

2. 次の部位には使用しないこと

- (1) 目の周囲、粘膜など
- (2) 湿疹、かぶれ、傷口
- (3) みずむし、たむしなど、または化膿している患部

3. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は使用前に医師または薬剤師に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人
- (2) 妊婦または妊娠していると思われる人
- (3) 本人または家族がアレルギー体質の人
- (4) 薬や化粧品などによりアレルギー症状を起こしたことがある人

2. 次の場合は、直ちに使用を中止し、この文書を持って医師または薬剤師に相談すること

- (1) 使用後、次の症状があらわれた場合

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、はれ、かぶれ、ヒリヒリ感、熱感、乾燥感

- (2) 5～6日間使用しても症状がよくなりえない場合



痛み に

腰痛・関節の痛み に

患部に浸透し、
のびがよく、
べたつかない

インドメタシン

ローションタイプ

インドメタシン1%配合

メタシンパスL

80mL 第2類医薬品



4 987487 101900

容器を立てて
保管してください。

使用前にこの説明文書を
必ずお読みください。また
必要な時に読めるよう大切に
保管してください。

保管および取扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない涼しい
ところに密栓して保管すること。
- (2) 小児の手のとどかないところに
保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと(誤
用の原因になったり、品質が変
わる)。
- (4) 火気に近づけないこと。
- (5) 金属類、化粧の衣類、プラスチック
類、メガネ、床や家具などの
塗装面等に液が付着すると変
質させることがあるので、付着
しないように注意すること。
- (6) 使用期限を過ぎた製品は使用
しないこと。
- (7) 本剤のついた手で、目など粘膜
に触れないこと。
- (8) 本剤が衣類や寝具などに付着し、
汚れた場合にはなるべく早く水
か洗剤で洗い落とすこと。

製造
番号

使用
期限

製造販売元

株式会社 **タカミツ**

名古屋市中区上飯田東町4-68-1

お問い合わせ先

☎0120-459533

受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

副作用被害救済制度の問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

【特 長】

インドメタシンを1.0%配合した、
局所吸収薬です。
インドメタシンが痛みの元に素早く
浸透し、つらい痛みにも効果的です。
首の部分が曲がっているボトルで、
塗りにくかった患部へも上手に塗布
できます。

【効能・効果】

腰痛、関節痛、打撲、捻挫、筋肉痛、腱鞘炎
(手・手首の痛み)、肘の痛み(テニス肘など)、
肩こりに伴う肩の痛み

【用法・用量】

1日4回を限度として患部に適量塗布する。

【用法・用量に関連する注意事項】

- (1) 目に入らないよう注意すること。万一目
に入った場合には、すぐに水またはぬる
ま湯で洗い、症状の重い場合には眼科
医の診療を受けること。
- (2) 11歳未満の小児に使用させないこと。
- (3) 11歳以上の小児に使用させる場合には、
保護者の指導監督のもとに使用させること。
- (4) 外用のみに使用し内服しないこと。
- (5) 塗布部位をラップフィルムなどの通気性
の悪いもので覆わないこと。
- (6) 1週間あたり50mLを超えて使用しな
いこと。
- (7) 皮ふの特に弱い方は、同じところに続け
て塗布しないこと。
- (8) 同じ部位に他の外用剤との併用は避け
ること。

【成分・分量】(100g中)

インドメタシン 1000mg
L-メントール 3000mg
添加物としてポリオキシエチレン硬化ヒマシ油60、
水酸化Na、トコフェロール酢酸エステル、ジブチルヒ
ドロキシトルエン、ビタミンC、クエン酸Na、イソプロ
パノール、クロタミトン、アジピン酸ジイソプロピル、
香料を含有する。